

しみずち く しゃめんたいさく
清水地区 斜面对策



Ver.2 (2022年10月) 紀伊半島大水害からの復興シリーズ 1

Hw

SABO-DATA

所在地: 奈良県五條市大塔町清水
河川名: 新宮川水系熊野川(十津川)
形式: 擁壁、法面保護、排土、斜面抑止
規模: 高さ350m / 長さ220m
施行者: 国土交通省
着工/完成: 平成23年(2011)
令和 3年(2021)



平成23年9月災害時の状況

基本情報

奈良県五條市の清水地区は、平成23年9月の台風第12号(紀伊半島大水害)により、斜面が崩壊し、約160万m³の土砂が流出しました。斜面再崩壊による崩壊土砂や、熊野川河道部における顕著な河床上昇等により、斜面对岸の宇井地区、隣接する清水地区で甚大な被害が生じる恐れがあり、崩壊斜面の安定化や洪水流の安全な流下を目的に、斜面抑止工や護岸整備等を行いました。

こだわりの技術

大規模崩壊斜面对策として実施した斜面抑止工は、従来工法(削孔機の上下移動+仮設足場の設置・撤去)では足場等の仮設工に膨大な費用と時間を要するため、経済性や施工性に有利な新技術(スタンドライブ工法)を活用しました。新技術では、ロープ足場による施工のため足場等の仮設工が軽微となり、工事費が従来工法の30%に抑えることができました。また、仮設に要する時間が短縮されることや小型の削孔機による施工のため移動が容易となり、工期も従来工法の60%と大幅な短縮となりました。